

3 土砂災害に備えて

日頃の備えと早めの避難



土砂災害の危険がせまったとき「避難しなきゃ!」と思っても、避難する場所や方法がわからないと、よけいな時間がかかり、早く避難できなくなってしまいます。「早めの避難」を安全に行うために、「日頃の備え」を確認しておきましょう。

日頃の備え ～土砂災害に備えて確認しておきたいこと～

私たちのまちでは、危険な場所や区域を調べて危ない所を示す地図(土砂災害警戒区域等マップや土砂災害ハザードマップ)を作ったり、看板を立てたりして、日頃から土砂災害の情報を私たちに知らせる活動をしています。これらの情報を確認して、土砂災害に備えておきましょう。

◆土砂災害警戒区域等マップや土砂災害ハザードマップを見てみよう

土砂災害警戒区域等マップ



web版



スマホ版

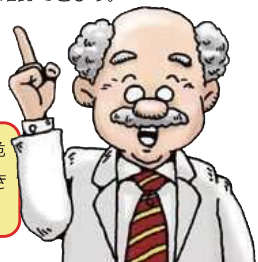
鹿児島県内の土砂災害が起きそうな危険区域や土砂災害が起きたとき被害を受けそうな範囲が確認できます。

鹿児島県のホームページで見ることができる地図です。
<https://www.sabomap.jp/kagoshima/>



土砂災害ハザードマップ

地域ごとに土砂災害が起きそうな危険区域や避難場所が確認できます。また、土砂災害への備えや早めの避難に役立つ情報が確認できます。



市役所・町村役場でもらえる地図です。土砂災害の危険がせまったとき、どこの場所が危険なのか分かり、安全な避難にも役立つ地図なので、いざという時に見ることができるよう準備しておこう!

◆家の近くに危険な場所はないか調べてみよう

土砂災害が起きそうな危険な場所や区域には、看板が立てられています。みんなの家の近くにはないか、天気の良い日に調べてみよう。



◆避難方法や連絡方法を家族で話し合おう

避難場所と避難の経路を確認しておこう

家の近くの避難場所はどこか、土砂災害ハザードマップなどを使って、おうちの人と確認しておきましょう。また、家から避難場所までの道順も決めておきましょう。

おじいちゃんやおばあちゃんの家の近くも調べてあげよう!



別々で避難した場合の連絡方法を確認しておこう

学校から直接避難することもあります。家族と一緒に避難できなかったときの連絡方法を決めておきましょう。

防災グッズをそろえてみよう

- 貴重品(現金、通帳、印鑑など)
- 避難用具(携帯ラジオ、懐中電灯など)
- 生活用品等(携帯カイロ、軍手、スリッパ、乾パン、飲料水など)

避難場所までどのくらいの時間がかかるのか、家族と一緒に歩いてみよう!



他にも、メガネ、薬など、生活に必要なものも準備することが大切じゃ。

◆避難訓練には積極的に参加しよう

私たちの命を守るために大事なことを教えてください。いざ!という時あわてないように、避難訓練には積極的に参加しましょう。

